



33日間という長い夏休みが終わりました。皆さんにとっては、どのような1ヶ月だったでしょうか？

私は、昨年度まで夏休みがない職場に4年間おりましたので、5年振りの夏休みにワクワクしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、どこかに出かけることもかなわず、東京に住む3人の子どもたちとも会えず、大好きなサウナにも一度も行けず、特に変わったことがない、ただただコロナ禍がうらめしい夏休みになってしまいました……。

1 夏休み中の仲間の活躍

(1) 県吹奏楽コンクール金賞！

7月31日(土)、大曲市民会館で開催された秋田県吹奏楽コンクールで、オーケストラ部の皆さんが、県南コンクールに続き見事に金賞を受賞しました。受賞報告の際の、部長のC.Mさんの「自分たちも思っていなかったような結果……」という言葉が印象的でした。無欲で無心で、演奏に集中できた結果だったように感じてます。おめでとう！

(2) 惜敗！ 全県少年野球大会

7月25日(日)、さきがき八橋球場で行われた初戦、お互いに相手を知り尽くした同士の対戦に、惜しくも敗れてしまいましたが、実力は紙一重でした。

(3) 東北大会・全国大会出場

8月5日(木)、カメイアリーナ仙台で行われた柔道大会でT.Hさんが、同じく9日(月)、秋田県営陸上競技場で行われた陸上競技大会ではS.Hさんが、各県を勝ち抜いた強豪に果敢に挑みました。

誉悠さんは本日、ALSOKぐんまアリーナで開催される全国大会に出場します。間もなく行われる初戦では、和歌山県代表と対戦することになっています。遠く角館から、誉悠さんの健闘を祈りましょう！

2 酷暑の中での部活動

今年の夏も暑い日が続きました。特にお盆前は、連日、熱中症警戒アラートが発令されていました。そのような酷暑に負けず、各部の皆さんは練習に打ち込んでいました。3年生からチームを引き継いだ運動部の2年生、1年生は、最初の公式戦となる郡新人総体が迫っています。残りの練習で、万全の準備を整えられるよう、一日一日、一瞬一瞬を大切に過ごしてください。

駅伝部の皆さんも、早朝からの練習にチーム一丸となって取り組んでいました。8月26日(木)に開催される郡大会は、会場が田沢湖畔から県営陸上競技大会に変更されることになりましたが、これまで鍛えた力をいかんなく発揮し、栄光をつかんでほしいと思います。

東京オリンピック男子マラソンで6位に入賞した大迫傑(おおさこ すぐる)選手は、レース中、「大丈夫、大丈夫」、「おまえなら、まだまだできるはず」、「ここはガマン、ガマン」、「ここで一気に駆け抜けよう」などと常に自分と対話し、自分自身を叱咤激励していると話していました。駅伝部の皆さんも、レース中に疲れて弱気になりそうな自分を、自分で奮い立たせて一秒を削り出してください。また、疲れてまぶたが落ちてきた時には、目に力を入れて大きく見開くことも、元気を呼び戻すために有効です。

皆さんは、角中生全員で取り組んできた5分間走や8の字走の代表選手なのですから、自信をもって大会に挑んでください。

科学部の皆さん、「理科研究発表会」に向けた準備は順調ですか？しっかりと準備を整えて、発表会当日を迎えましょう。

3 角中生は誹謗中傷を絶対にしません！！

8月に入り、仙北市でも新型コロナウイルス感染症陽性者が出ていることは、新聞等の報道で皆さんも知っていると思います。

感染してしまった方々は、誰も自分が罹るとは思っていなかったでしょうし、感染予防対策も行っていたと思います。

しかし、残念なことですが、世間では感染者、濃厚接触者、医療従事者やその家族に対する誹謗中傷や根拠のないウワサ話が依然として無くならないようです。

4月15日付けの「小倉山通信」No.3に掲載した次の内容を、もう一度考えてほしいと思います。

もし、自分や家族が感染した時に……

- 他の人に、されたら嫌なこと
- 他の人に、言われたら嫌なこと
- 他の人に、してほしいこと
- 他の人に、かけてほしい言葉

いつ誰が感染してもおかしくない状況になっています。感染しないように、みんながこれまで以上の予防対策を続けましょう。また、いつでも困っている人たちのために、何ができるのかを考え、行動できる角中生であってほしいと願います。